

令和2年度生徒指導集中対策，生徒指導実践指定校及び不登校等未然防止推進校

「指定校における取組事例」

学校名	海田町立海田東小学校	校長	石川 和明	担当者名	吉岡 朋美
-----	------------	----	-------	------	-------

取組事例名 『東っ子 ここからチャレンジ』

○	生徒指導に係る連携体制の確立	カウンセリング・マインドを もった教職員と児童生徒との対話	主体的な活動を通した絆づくり
---	----------------	----------------------------------	----------------

取組における育てたい資質・能力

- 学校生活のきまりについて理解し，実践する力
- 自分の考えによって判断し，行動する力
- 自らを抑制する力

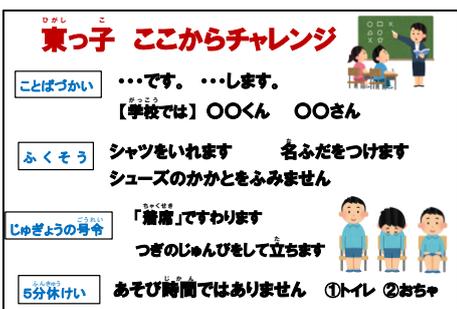
取組のねらい

生徒指導規程や「東っ子の学び」の取組をもとに全校で目指すべき児童の姿を示し，それを達成しようとして意識して取り組むことで，よりよい学校生活を送ろうとする主体的，実践的な態度の育成を目指す。

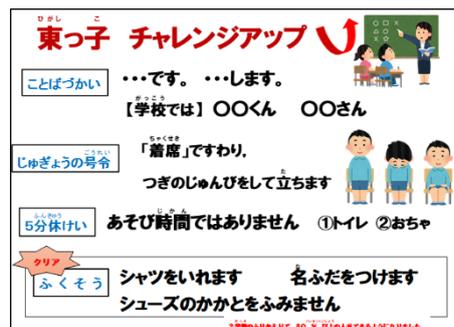
取組の具体的内容

取組の創意工夫

- 「東っ子 ここからチャレンジ」の取組
 - ・コロナによる臨時休校，分散登校，時間差授業を経て，あわただしく1学期が終了した。落ち着いた2学期の学校生活を送ることができるように，言葉遣い，服装，授業の号令，5分休憩の過ごし方に項目を絞り，重点的に全校で取り組んだ。
- 「東っ子 チャレンジアップ」の取組
 - ・2学期の振り返りでは，服装の達成率が90.2%となりクリアできた。学年末に全てがクリアできることを目指して，「東っ子 チャレンジアップ」に継続して取り組んでいる。
- 「時間を守る」の取組
 - ・3学期の生徒指導研修で本校の課題と背景を探り，全校で取り組む課題を決めた。指導ラインを決めて，全教職員で意識統一して一点突破を目指す。



- ・「時間を守る」の取組では，教師がすること，児童がすることを明確にし，全教職員で指導方針を共通理解して取り組むようにした。
- ・学級ごとに毎日の状況を振り返り，児童に肯定的評価を伝えた。
- ・期間を1週間ごとに区切り，指導→中間振り返り→見直し指導→振り返りと，短いスパンで取り組むようにした。



取組の成果と課題

- 項目を絞り全校で取り組むことで，きまりを守ろうとする児童が増えてきた。自主性・自律性を高め，自己管理する能力と態度を育成するよい機会となった。
- 指導基準を明確にすることで，教職員が一貫性をもって指導することができた。
- 切り替えが難しかったり指導が身に付かなかったりする児童がいる。適切な支援を交えながら，継続して指導を続けて行く必要がある。